

2024年度自己評価公表シート

学校法人扇町同胞学園
扇町同胞幼稚園

1. 園の教育目標

キリスト教精神に基づき、それぞれの年齢にふさわしい集団と環境の保障に配慮し、「遊び」を中心とした幼児の主体的・能動的な活動を促し、家庭と協力しながら人格形成の基礎を培う。

2. 今年度の園の研究目標・計画

※主体的に環境にかかわり、いきいきと遊ぶ子どもを育て、楽しく取り組める環境と保育内容を考える

- ・栽培・エコ・リズム活動を考える
 - ・月案・週案・日案などについて考える
 - ・防災、防犯、安全についての意識を高める
- 避難訓練を計画実施する

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
*栽培・エコ・リズム活動を考える	<ul style="list-style-type: none">栽培については、OZ（大阪造園）の協力により地域への農園活動に参加することができた。それと共に今後、エコについても話を深め、職員子どもと共に引き続き実践していくリズム活動においても体幹・柔軟性を鍛えるため日々の保育の中で自然な身体・体力づくりを実施引き行っていく
*月案・週案・日案などについて考える 教職員の資質、および指導力の向上を図るために 日々振り返りができるように月案、週案、日案について考慮する ・日々記録に残す工夫	<ul style="list-style-type: none">職員は各月の保育目標を考慮したうえで、月案、週案、日案を作成保育の中にルクミーICT化を少しづつ取り入れ、保育者にとって無理のない日々の振り返りや、指導の向上、記録を実施
*防災、防犯、安全についての意識を高める ・避難訓練を計画実施する	<ul style="list-style-type: none">園内研修も含め、年度初めにそれぞれの研修計画を定め各職員毎に研修を受け、持ち寄ったものは全体で共有していく月毎の避難訓練実施（避難バッグ・備蓄・救急用品等を確認し災害に備える）警察署、消防署による防犯、園庭のドア施錠の徹底教師による防犯、防災、安全教育の再認識を図る教師間での防災、安全管理についての共有と確認

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・コロナ禍は平常保育に戻ったが、感染防止に気を配りながら保育を実施
- 園児の健康維持ため、日々過ごす保育室を安心した環境を考え、園舎の空調を考慮しながら抗ウイルス対策を実施
- ・行事や保育内容など、参観や懇談、親子ともども楽しく取り組める内容を工夫
- ・園庭の砂塵防止の凝固剤（砂遊びに無害）を散布
- 砂塵の発生を防ぐほか害獣の侵入防止にもつながり、できる限り清潔な環境の中、園児は安心して戸外活動に取り組めている
- ・今年度より対面研修が再開、ディスカッション研修にも再参加
- これにより教職員が保育の学びを共有し、保育の質の向上と内容の充実に努めることができている。保育内容の充実は子どもたちの健やかな成長につながっている

5. 今後の取り組むべき課題

防災・避難訓練	<ul style="list-style-type: none">・災害に備えるため、防火管理・安全管理マニュアルを再確認し、積極的に消防署や警察署による避難訓練を実施園児が自分の身を守る行動の大切について引き続き予告なしの引き渡し訓練など、とっさに正しい行動ができるよう意識をもって取り組んでいく・備蓄品・防災・安全管理マニュアルなどの再点検・共有
保育等の情報公開	<ul style="list-style-type: none">・保護者会やクラス懇談会の中で、教育のねらいや子どもたちの成長の姿、家庭の協力について共通理解につなげていく・引き続き、ルクミーのICTツールやインスタグラム等を利用して身近に手の届く情報公開を実施していく

6. 学校施設関係者評価

学校施設関係者委員会を開催し、2024年度の評価項目について話し合い検討した。

評価目標には1.評価目標・方針 2.保育内容 3.環境 4.防犯防災安全管理 5.教職員の研修 6.情報公開 7.組織運営の7項目を重点に評価、検討の意見交換がなされた。評価委員より本園の保育内容や環境整備について園児の成長発達に即し適切である旨、評価がなされている。

7. 財務状況

公認会計士外部監査により、経営上適正にかつ運営されていると認められている